

西予市消防体制検討特別委員会 会議録

1. 招 集 年 月 日 令和3年2月24日
1. 招 集 の 場 所 西予市議会第1委員会室
1. 開 会 令和3年2月24日
午後2時57分
1. 散 会 令和3年2月24日
午後3時51分
1. 出 席 委 員
委員長 佐藤 恒夫
副委員長 信宮 徹也
委員 宇都宮 俊文
委員 河野 清一
委員 竹崎 幸仁
委員 小玉 忠重
委員 中村 敬治
1. 欠 席 委 員
な し
1. 説明のため出席した者の職氏名
消防本部消防長 佐藤 克也
防災課長 坂本 弘治
1. 本会議に職務のため出席した者の職氏名
事務局次長 大内 俊二
1. 会議に付した事件
① 中間報告について
② その他
1. 会 議 の 経 過 別紙のとおり

会議の経過

(開会 午後2時57分)

○信宮副委員長

(開会宣言を行うとともに、委員長に挨拶を促す)

○佐藤委員長

(佐藤委員長が挨拶を行う)

○信宮副委員長

それではこれよりの進行は佐藤委員長が行います。

○佐藤委員長

そうしましたら早速議題に入っていこうと思います。

宇和島地区広域事務組合と西予市消防本部との共同運用の調査結果を佐藤消防長の説明を求めます。

○佐藤消防長

資料3枚程度、用意しておりますが、1ページ目をお開きください。A4の横の資料でございます。

宇和島地区消防本部と当市の消防本部が消防指令センターの共同運用について、技術的な面から検討を進めるといったことのために、外部コンサルによって調査を実施した結果の概要をお知らせしたいと思っています。これは国の委託事業でございますので、国への提出資料の一部を使用して御説明をします。

資料1枚目は全体概要です。左上の表をごらんください。両消防本部の管轄人口と管轄面積を示しております。人口は合計で12万5000人程度。面積は1,322平方キロメートルと非常に広い状況でございます。その下の課題の欄を見てください。両市とも西日本豪雨による被害を経験して、広域災害に対する課題を克服するためにどのような指令台が必要なのか、災害情報共有の仕組みや防災行政無線の接続、またその運用方法など、技術的な面から検証することを目的といたしました。

その下の成果の部分をごらんください。指令台の企画は、Ⅱ型が必要という結果になりました。南予地区の人口が現在約26万人ですが将来的に南予が一つとなった場合にも賄える指令台をということで、30万人規模が賄えるⅡ型としたということでございます。

次に2. 災害情報システムでございますが、市

町災害対策本部と消防の情報共有については、車両に積載するカメラであるとかドローン、各署庁に設置する高所カメラ等々の映像などの災害情報を共有するためのシステムの導入を検討いたしました。

3. では2市2町、4つの防災行政無線を運用する上ではヒューマンエラーを回避しなければならないこと。それから迅速化を図らなければならないことを考慮して、自動化する装置の導入をシミュレーションいたしました。それらの性能を全て兼ね備えたもので、総額約8億円の費用がかかると試算でございました。

次のページを見てください。共同運用の効果として1市民サービスの向上の内容、それぞれ1番から4番まで書いております。それから2に財政上の効果について1番から3番まで記しております。3の効果のまとめをごらんください。指揮命令系統の一元化により、市町と消防が情報を共有して、いち早い協力体制が確保できることと、経費節減の効果が期待できるという結果になっております。

その次のページ、4の施設整備の内容を示した表をごらんください。1番左側に項目、その右に共同運用の場合の費用、その右が単独で整備した場合の両消防本部それぞれの費用を算出しております。共同整備の整備費用のところ、7億7933万5000円。これに実施設計、施工監理費用1980万円を加えて、総額7億9913万5000円になると。このうち、補助対象額この7億9900万円に対して、補助対象額が3億2689万4000円でございますので、この3分の1の額、1億896万4000円が補助額になると。残額が6億9017万1000円、これが負担の実額になるということですが、この6億9000万円は全額、緊急防災減災事業債が活用可能となります。これを宇和島地区と西予で按分して支払うということになるかと思えます。例えば、人口割で按分するとすると、約30%が西予の負担になる。つまり、30%ですと2億円強ということが西予の負担になり、そのうちの起債の返済額というのは30%ですから、6000万円強が実際に必要な西予市の負担になるということになります。これに対して単独整備をした場合、この単独整備はもちろん、今ほど申し上げました全ての機能を兼ね備えたものを整備するとなればという仮定です。になると、西予の場合には5億7777万1000円が負担額となり

まして、緊急防災減災事業債が使用出来ませんので、大変大きな負担がかかってしまうということになります。

最後に、元のページ1ページ目に戻っていただき、右下の今後の展望のところを見ていただきたいと思います。令和7年4月1日を運用開始の目安としていること。事業費の按分方法、センターの場所、部隊運用の協力方法などについてはまだ検討をしておりますので、さらに検討を進めていかなければならないということで、令和3年度についても、検討委員会で検討を進めていくことを決定いたしております。以上説明とさせていただきます。

○佐藤委員長

佐藤消防長の説明をしていただきましたが、何か質問と聞いておきたいなとかというふうなことがあるようでしたら、委員の方からお願いします。

○中村委員

宇和島地区につきましては、広域の中に鬼北町と松野町が入るとるわけですけれども、ここは代表して宇和島地区広域事務組合が今まで協議されてきておると思うんですけれども、本当のところ、松野町や鬼北町が最後の土壇場になって待てよと言いつたんではちょっと足並みが乱れるわけですけれども、その辺はいかがですか。

○佐藤消防長

先ほど申し上げました検討委員会に松野町、鬼北町のそれぞれ担当課長が入っていただいて、情報共有を図っているというところでございます。

○中村委員

協議はわかりましたけれども、その雰囲気といいますか、要するに西予市と一緒にやっていこうというような意気込みというか、会議の場での気運というか、そういうのはちょっとつかみにくいかもしれないんですけど、そういうつかみにくいところが大事なことじゃなからうかと思うんですが。

○佐藤消防長

實際上、委員会はまだ2回ほど開いておりまして、その担当課長会、その下の部会を3回ほど実施しております。なかなか内容については、消防というところなので、一般行政の課長に来ていただいても、なかなかこう説明が難しい。理解していただくのは難しい状況ももちろんあります。この委員会、それから部会を続けることによって、

ある程度認識は統一出来ているのではないかとこのふうには思っています。

それから、もう一つ、宇和島地区施設事務組合の理事会と申しますか、首長が集まった会議がありまして、その場で宇和島市長が西予と協力をしていながら、消防指令センターの構築に向けてやっていくんだということを御挨拶されたというところで、そこについても全ての首長に説明がなされているというふうな認識でございます。

○小玉委員

松山地区が共同運用はもう既に始まるういうか、先行しているということですが、その地域といつ頃始まるかを教えてもらったらと。お願いします。

○佐藤消防長

これは公式ではない、私どもが知り得た情報ですけれども、中予地区は松山が中心となって、松山市、東温市、伊予市の3市町が伊予消防事務組合ですね、松前町が入っていますので。で中予地区で外れているのは久万高原町、今のところは外れているというところで話がまとまっておりまして、令和6年4月1日から運用を開始するという目標を立てて、現在検討を進めているというところでございます。

○佐藤委員長

ほかにございませんか。

○竹崎委員

視察に行ってみても、この広域化のすばらしさを体感したし、今現在、八幡浜や大洲の反応はどうなっとるのか、わかる範囲で教えていただけませんか。

○佐藤消防長

実は年間に数回から南予地区で消防長会をやつて情報共有をやるんですが、ここのところ、コロナの関係でその会議が中止となっております、最新情報はつかんでおりません。申し訳ございません。

○佐藤委員長

ほかにございませんか。

○河野委員

コンサルによるこの結果、いいことづくめみたいなんですけども、今後のスケジュールというか、どういった方向でその事業を進めていくとか、なおかつまだ検討していかれると思うんですけれども、そこら辺がわかっておればお教え願ったらと思います。

○佐藤消防長

これ、現時点でこの結果が出て、いいことづくめなんですけれども、これでもゴーサインが出ないと。やろうというところではまだ合意が出来ていないというのが、庁舎建設のスケジュール等が合致するかどうかというところが1番大きい問題点でございます。うちの庁舎ですが、令和7年4月1日で供用開始をやろうと。このタイミングで共同指令センターができ上がっておかないと救急車も消防車も動かすことが出来ません。宇和島にとっても同じタイミングで庁舎が完成しないと、宇和島についても困った話になるということなので、宇和島と西予の庁舎スケジュールが合うと合致するということが1番重要なポイントかなというふうに思っています。そこで、今年度中にこのことを決定して、令和3年度には整備に向けて実務をやっていくんだというふうな計画でございましたが、現時点で宇和島の土地が決まっていなくて、ということで来年にずれ込んだというところがございます。

○佐藤委員長

ほかございませんか。

○小玉委員

西予市は場所も決まって買収されると思うのですが、西予市は令和7年4月1日には開署したいということ。宇和島はまだ場所が決まっていないのでそれと一緒に間は合わないのやろうか。

○佐藤消防長

目標としては、宇和島も同様に令和7年4月1日を目標としています。ただ、場所が令和3年度の前半に決まらなければ、令和7年4月1日開始は非常に難しいということになるかと思えます。それからもう1点、西予市の新しい本部庁舎の土地はまだ決まっておられません。

○佐藤委員長

ほかにありますか。

○中村委員

宇和島がこの共同運用の大きなパートナーなわけですから、宇和島広域事務組合のほうが決まらないことには、西予市も結局相手が決まらんわけですから、進められない状況に陥るわけですが、宇和島市自体が今後のスケジュールはこれは市としてじゃなしに消防本部として何かどういふ動きがあるんですかね気持ちとして、西予市に迷惑をかけたらいかんから、何とかその方向で令

和3年の前半中にでも決めたいというような形で動いておるのか、もう成り行きに任すというようなことはないと思うんですけども、それではちょっと困るので、何かその辺、しっかり手綱を持って離さないように西予市としても、できるだけコントロールしていつてもらいたいわけですけども、その辺の手だてはありそうなんですか。こちらから場所が決まらんというのが西予市からはなかなか手をこまねいていかざるを得んような感じにもなりますけれども、土地がない宇和島市の中でいつまでも旧宇和島市内で広い面積を求めようと言われてもなかなか難しいような気はしてくるわけですけども、その辺消防長としては、何か打開策を見つけないと困るわけですけど。新しい消防長に引継ぎされて、「はい、さようなら」と言われたんでは困るんですが。

○佐藤消防長

宇和島のスケジュールについては、先ほども言った令和7年4月1日を目標にはしております、その熱量といいますか、どの程度絞られてるのかというようなことがある程度話は聞いております。

ただ、そのところもまだ問題があって、今のところまだその計画は確定されてないというふうに報告は聞いております。そして、先ほどの事務組合の会議において、岡原市長がスケジュール合わせるように、延期にならないように、頑張ってくれというふうな力強いお言葉があったということなので、向こうの消防長としても、今一生懸命土地選定に向けて努力をされているというふうに聞いております。

○佐藤委員長

ほかにありますか。

佐藤消防長も3月いっぱいまで定年退職ということを知っていますので、そこらあたりしっかりと今後引き継いでいただきたいなと思います。無いようだったら説明を終わりたいと思います。ありがとうございました。

暫時休憩いたします。(休憩 午後3時19分)

○佐藤委員長

再開します。(再開 午後3時23分)

2つ目の中間報告について議題にさせていただいたと思います。先ほども言いましたように、今回(委員会が発足して)8カ月ほど経ったんですけども、委員会それから協議会入れてもまだ3

回ぐらいしか開催してないんですが、その中で中間報告を3月定例会に入れるか、それとももうせんでもいいよとかというふうな話があるようだったら、しないままでもいいんですが一応やっぱ委員会というのが出来てる以上、中間報告は入れたほうがいいんじゃないかなというふうなことは感じてはおるんですが、委員の皆様の見解をお聞きいたします。どんなでしょうか。

○宇都宮委員

消防長から報告あったように全部が全部はまだ報告できないところあると思うんですが、宇和島との間で前向きな検討はされよるぐらいの報告がいいんじゃないかなと思いますが、余り細か過ぎてもやっぱりいけないので、令和7年度に向けて、共同運用の検討しよりますぐらいでいいんじゃないかなと私は思います。

○佐藤委員長

中間報告は入れたほうがいいんじゃないかなというふうなことを言っていたんですが、どうしましょう。私のほうで中間報告つくりますので、時間をつくりますのでそれを見ていただいて、18日の最終日に報告をするようにいたしましょうか。かまいませんでしょうか。

○中村委員

今の佐藤消防長の話をお聞きすると、やはり西予市のほうはそれなりに頑張っていたいて、それぞれの部署で一生懸命取り組んでいただいたおかげで、土地の選定もほぼ見通しが立ちつつあるというような実態ですから、話としては宇和島の広域のほうはなかなか難渋しておるといいますから、やはり西予市議会で中間報告の中で、その実態をしっかりと表明していただいて、ある意味では松野、鬼北を含めた宇和島のほうにプレッシャーをかける言うたら失礼ですけども、しっかり一緒になってやらないかんがないかという意識を持ってもらうためにも、議会からもあわせて、しっかりと意思表示して、遅れんように一緒に共同でやってもらいたいということをしっかり表明する必要があるんじゃないんですか。私はそう思いますけどね。いいかげんな言い方になると、なかなか議会のほうは十分ついて行ってないぞというように思われて、宇和島も議会のほうもそういうような動きに追随されたんではちょっと違った方向に行くのかなという気は心配します。

○佐藤委員長

意見を出していただきました。そこら辺りをしっかりと報告できるような形で作っていきたいと思います。

そしたら、中間報告はするというのでよろしいでしょうかね。

(賛成者全員)

ほか何かその他であるようでしたらお願いします。

暫時休憩します。(休憩 午後3時28分)

○佐藤委員長

再開します。(再開 午後3時31分)

ほかにはないですか。

ないようだったら、これで特別委員会を散会いたします。

(散会 午後3時51分)

西予市議会委員会条例第30条第1項の規定によりここに署名する。

西予市消防体制検討特別委員会

【署名】委員長：